

平成17年11月4日

5号機屋外配管敷設溝における重油だまりの発見について

当所5・6号機サービス建屋*¹南側付近で油のにおいがすることから、周辺の調査を行ったところ、平成17年11月2日午後3時5分頃、サービス建屋温水ボイラー*²に供給する重油配管敷設溝上蓋付近の地面に油が少したまっていることを当所社員が確認しました。そのため、当該重油供給元弁を閉止するとともに同日午後3時23分、当所社員より消防署に連絡しました。

その後の調査において、先に確認した油だまりに加えて当該配管の敷設溝にも重油と水がたまっていることを確認したため回収いたしました。たまっていた重油の量は約117リットル、水の量は約1,600リットルであることを確認しました。

今後、詳細な調査を実施することといたします。

本事象による外部への放射能の影響はありません。

以 上

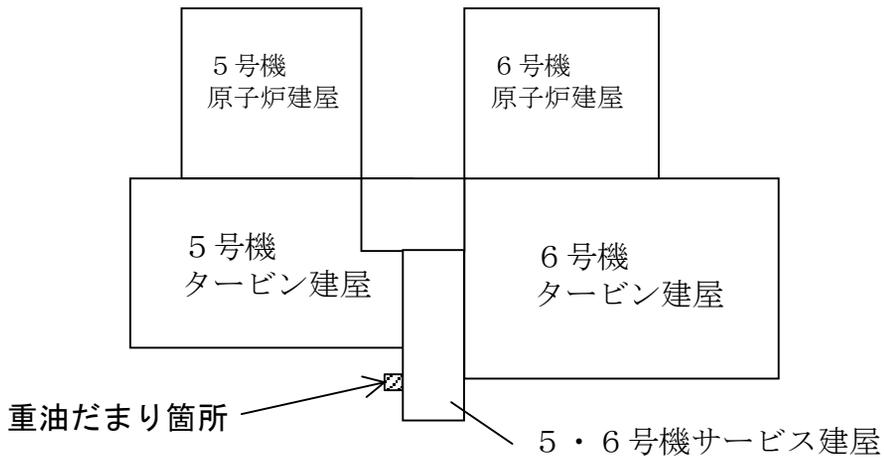
*1 サービス建屋

中央制御室や管理区域への人の出入りをチェックする他、作業員の休憩等の場所として提供している建屋。

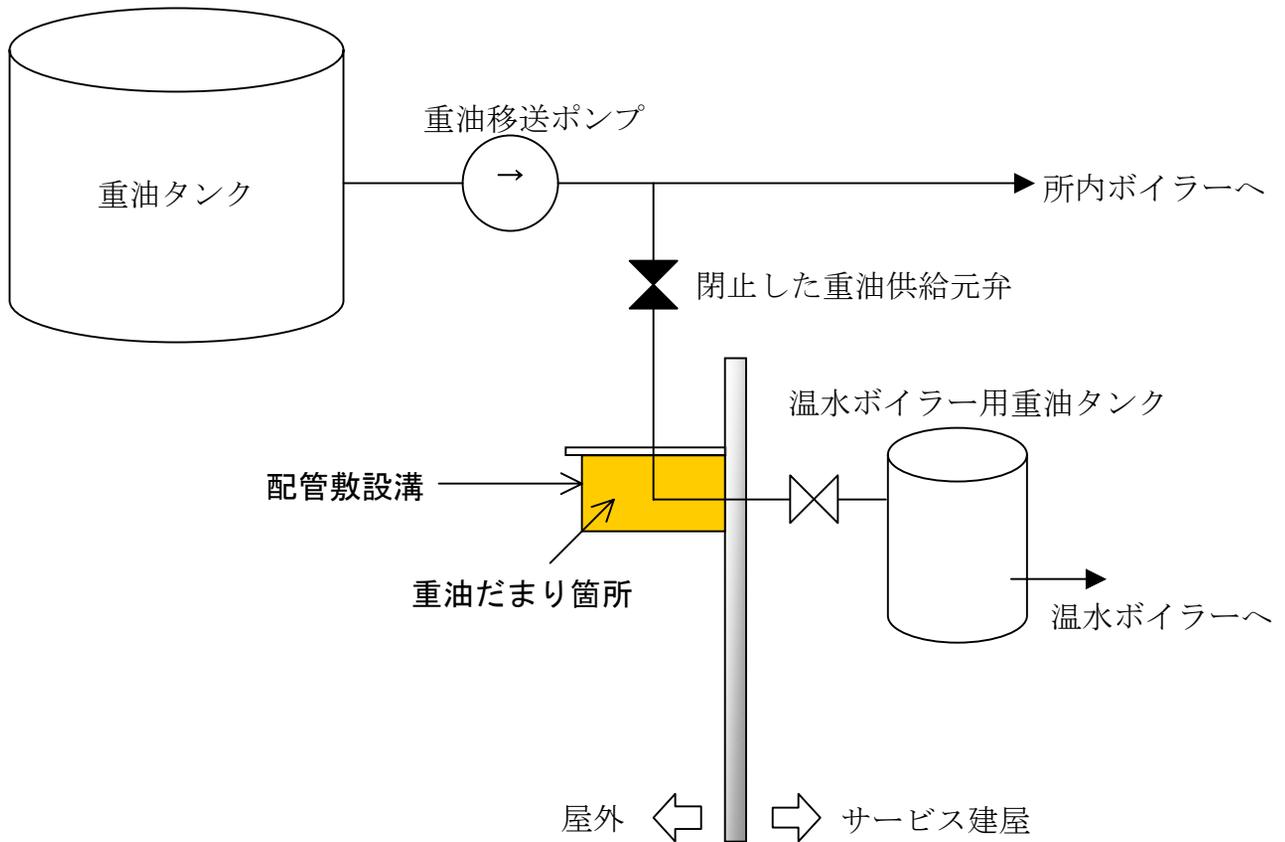
*2 温水ボイラー

手洗い場やシャワーに温水を供給するための設備。

これは「当社原子力発電所における不適合事象の公表方法の見直しについて」（平成15年11月10日お知らせ済み）における区分Ⅲの事象として、休前日に発生した不適合事象を公表しているものです。



5・6号機建屋平面図



5号機屋外配管敷設溝における重油だまりの概略図